



ITU電気通信標準化局 新局長 尾上誠蔵氏インタビュー

ブカレスト（ルーマニア）で開催されたITU全権委員会議（PP-22）で、次期 電気通信標準化局（TSB）局長に選出された尾上誠蔵氏に、喜びの声を伺いました。

—— この度はITU電気通信標準化局（Telecommunication Standardization Bureau：TSB）局長ご当選おめでとうございます。喜びの言葉をお聞かせください。

尾上 日本を挙げてご支援いただいた皆様のおかげです。どうもありがとうございます。ブカレストでの選挙が9月30日に行われ、全権委員会議を終えてちょうど昨日帰ってきたところです。

—— 今回の選挙で一番苦労された点はどのようなことでしょうか？

尾上 選挙活動の基本は、いろいろな方と会ってアピールすることでしたが、COVID-19の影響で選挙期間前半の多くはオンラインでした。会談の前には、相手の国の事情などをあらかじめ勉強しておく必要があり、背景を理解した上で相手に伝えていく、という活動が1日に何件もあり大変でした。

後半は地域会合などに参加し、何か国もの国々を訪問して2か国間会談を行いました。移動には様々な制約があったことも苦労した点です。しかし、そういう積み重ねが実を結んだと思っています。

—— 今回の選挙の勝因は何だったとお考えですか？

尾上 1回目の投票で過半数を超えて、2回目の投票ラウンドに行くことなく決まりました。1回目で過半数を4票超えることができたのは、様々な活動をしてきたすべての取組みの積み重ねの結果だと思います。

特に、色々な国の方々と話して感じたのは、日本政府が日頃から構築してきた各国との友好関係が大きな要因であるということです。途上国への援助が好意的に受け取られていて、日本だからサポートした、という話も聞き、日本政府には感謝しています。

選挙活動に関して、政府一体となって、総務省・外務省・官邸から大きな支援を得られたことが大きな要素です。

立候補の半年くらい前から議論して定めた「ONOEコミットメント」をシンプルに訴えるという活動方針で個々に行った活動も評価されたと思います。

選挙チーム（総務省・外務省・官邸・NTTグループ等）の支援を得て展開した、私の似顔絵のキャラやコミットメントの表現の仕方などでシンプルに伝えていくという選挙活動も功を奏したと思います。

政府ばかりでなく日本ITU協会を含め、日本の各組織、企業からいただいた支援すべてのおかげで1回目の投票で決めることができたと思っています。

—— 活動を通じて尾上様の人柄が各国に伝わったことも勝因の一つではないかと思いますが、キャラクター、パーソナリティを伝えていく上で苦労した点があれば教えてください。

尾上 私のキャラクターというのはウケを狙ったりする関西人的な気質がある反面、大きなことを言わず地道に努力する典型的な日本人であるとも言えます。それでは世界では通用しないと言われて、大きな実績や経験があると無理してス



■ONOE Commitment（選挙キャンペーンBrochureより）



■オンラインインタビューの様相



■尾上氏当選に向けて選挙対策チーム (<https://www.flickr.com/photos/itupictures/52394901543/>) ©ITU/Rowan Farrell

スピーチで語りました。ただ、正直者で適当にもの言えないところなど、日本人が持っている良い面が滲み出たのであれば嬉しいです。候補者セッションで、決められた持ち時間を無視して延々話す人々の中で一人だけ時間を守っていたら、シンプルで内容がよく伝わるスピーチだったと評価されたり、時間が押した時に小走りで席に帰ったら拍手されたりして、日本人が持っている良い面を理解する方々に伝わったと感じます。と同時に、世界に通用するやり方も必要なので、それはこれからも苦勞するだろうと思います。

—— 2023年1月から着任されるとのことですが、新局長としての抱負はいかがでしょうか？

尾上 4つのコミットメントの中でもOutreach worldwide、世界中に技術標準を普及させるというコミットメントを実行に移していくのが重要と考えています。また民間の出身でこのような地位に就くのは珍しいことなので、industry（産業界）とのつながりをアピールポイントとしてきました。industryを巻き込むことによって標準の実装が進む、そのためにもindustryが重要と訴えてきたことを実行に移したいです。日

本企業を含め世界中のindustryの人々がITU-T、そしてITUに興味を持って参加し、それが自らのためになって各々の企業が発展する、標準が広がりひいては国が発展するということを実現していきたいと思います。

—— ITUをはじめとする国際標準化には多くの人が取り組んでいますが、その方々へのメッセージをお願いします。

尾上 選挙期間中は本当にありがとうございました。これからは難しいところにチャレンジしていくのもっと大変になりますが、今後とも日本政府の皆様、日本ITU協会の皆様、特に個々の企業ですでに標準化に携わっている方も多くいるので、ぜひ一緒に標準化を進めていきたいと考えています。

コミットメントの2つ目にNew Ecosystemという新たな協力のフレームワークを掲げましたが、現在、標準化のフレームワークは複雑でITU-Tだけでは成り立ちません。他の組織との連携強化が必要なので、ITU内外で標準化を進めている皆様、協力して素晴らしい未来を作りましょう。よろしくをお願いします。

(インタビューア：日本ITU協会専務理事 田中和彦)



■尾上氏当選スピーチ

(<https://www.flickr.com/photos/itupictures/52394778570/>)
©ITU/Rowan Farrell



■ITU新体制

(<https://www.flickr.com/photos/itupictures/52403599196/>)
©ITU/Rowan Farrell